



海洋研究開発機構では、南海トラフに設置された3点の孔内観測点（C0002・C0010・C0006：図a）とDONET海底観測点によって南海・東南海地震震源域近傍のSSE及び低周波微動のモニタリングを実施している。2020年3月18日頃から25日頃までにかけてC0002とC0010の2か所でゆっくりとした間隙水圧変動が観測された（図b）。これはSSEに起因すると考えられる。また、2020年3月23日から24日にかけて超低周波地震および低周波微動がC0010の近傍で観測されたが、その後は低調となった（図d）。